

2013年(平成25年)4月13日 土曜日

神 奈

NPO法人 カルミアネット

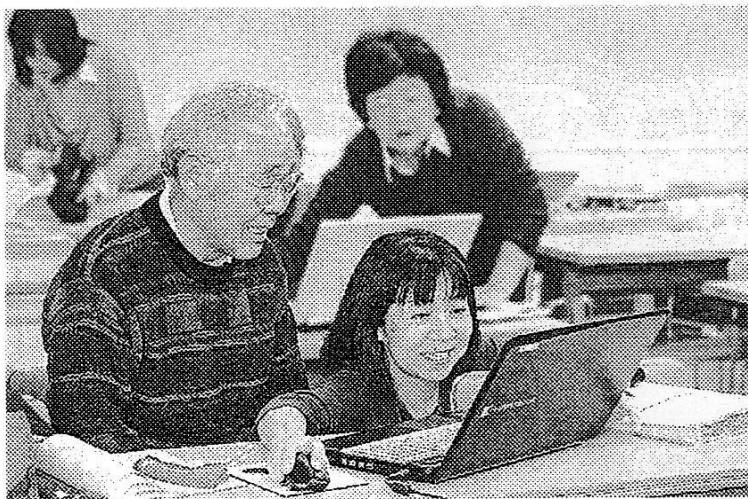
「助けを必要としている人を放つておけない」という称津順子理事長。16年前、「川崎パソコンボランティア」という団体に障がい者にパソコンを指導したことをきっかけに、2000年に「超初心者」を対象としたパソコン教室「カルミアネット」を設立。2年後には目標を社会貢献に据え、NPOとして法人化した。

東京・青山と麻生区の新百合ヶ丘で開講。パソコンの電源を入れるところから始まる基礎講

市民発

地域をつくる人・活動

パソコンで絆づくり



座は全7回。難しい言葉は使わず、相手が理解するまでとことん付き合う。希望者はワード、エクセル、メールコースに進む。

「パソコンだけでなく、人間同士の温かい出会いの場も提供したい」と称津さん。修了者は950人を超え、毎月1回のOB会、年2回の親睦会を開催し互いに絆を強めている。

受講費の一部は町田市の作業所や、障がい者支援施設に寄付し、アフリカの子どもや被災地の子どもたちの支援も行っている。称津さん自身も障がい者就労支援や、障がい児の自立を目指す活動にも積極的に参加している。

グループ名にある「カルミア」の花言葉の一つが「大いなる希望」。高齢者や障がい者が仲間に出会い、パソコン技術を覚え、才能を伸ばしたり助け合ったりする。そんな希望に満ちた場所づくりを目指している。

(市民記者・佐々木 直子)